



経験を現実的な災害対策へ

令和6年1月1日16時10分、石川県能登地方を震源とする能登半島地震が発生しました。この地震において犠牲となった方、多大な被害を受けた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

自然災害の中でも天候災害とは異なり、地震はいつ起こるか予測ができない。まさか元旦に大きな地震が発生するとは、皆が想定していなかったことだろう。

私は令和5年6月から日本歯科衛生士会の東海北陸ブロック（愛知・石川・岐阜・静岡・富山・福井・三重）を担当する理事を務めている。その関係でブロック内において災害が発生した際には、被災地の状態や被害状況等を該当県の災害歯科保健業務調整（ロジスティクス）歯科衛生士から情報収集し、日本歯科衛生士会へ報告する連絡調整の役割を担う。

令和5年の7月には北陸3県で大雨による被害が生じており、即日状況報告が届くことはすでに経験していた。今回の能登半島地震発災時も、発生からわずか10分後に北陸各県、岐阜県の被災状況が迅速に届いた。

大きな災害は発災直後から時間の経過とともにフェーズが推移する。被災地である石川県では、発災から72時間後のいわゆる超急性期といわれるフェーズを超えた直後に、石川県歯科衛生士会は石川県歯科医師会から能登半島への支援要請の依頼を受けており、1月4日の時点でこの報告を受けた。この支援はJDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）※1での初稼働となり、発災から7日目に初動隊が被災地入りし、被害状況の把握と避難所支援を開始している。その後、1月11日に能登半島地震が激甚災害に指定され、1月13日に石川県歯科医師会から

日本歯科医師会へ災害歯科支援チームの派遣要請が発出された※2。同日、日本歯科医師会より都道府県歯科医師会長宛に派遣要請が発出された。

愛知県歯科医師会もJDAT愛知を立ち上げ、愛知県歯科衛生士会にも支援要請依頼が発出され被災地で支援活動を行う。

東海北陸ブロックは7県がすべて歯科衛生士を含めたJDATを編成して支援活動を行っている。すべての県会が人員調整や実際の支援に試行錯誤しながら対応している。

派遣が終了したら発災からの流れを検証し、愛知県や隣県、近県で大規模災害が発災することを想定した、受援を含め現実的な対策に繋げる必要性を強く感じている。当会として早急に体制強化に取り掛かる予定であり、随時会員と情報共有できるよう開示していきたい。

※1：JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的として、令和4年（2022年）3月2日に日本災害歯科保健医療連絡協議会が創設した。（<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>より引用）

※2：石川県より厚生労働省にも派遣要請が発出されている。



副会長 渡邊 理沙

令和5年度東海北陸ブロック協議会・研修会報告

石本 多実

日本歯科衛生士会はエリアごとに各都道府県会が6ブロックで編成されており、当会は東海北陸ブロックに所属している。令和5年11月19日(日)愛知県・石川県・岐阜県・静岡県・富山県・福井県・三重県の会長および役員が集まり、東海北陸ブロック連絡協議会および研修会を愛知県で開催した。

コロナ禍の影響によりWeb開催が続いていたが、この度令和元年度以来4年ぶりに現地開催することができた。

協議会は日本歯科衛生士会より河野章江副会長、岡田昌子専務理事、渡邊理沙東海北陸ブロック理事を迎え25名が参加した。

河野副会長より、1) 専門歯科衛生士制度について 2) 学会の活動について 3) 就労支援について 4) 厚労省への本会の要望書について 5) 情報セキュリティに関する取り組み 6) 常勤理事の採用について 7) 国際交流活動 8) 災害歯科保健歯科衛生士登録者状況について情報提供があった。また、ブロックより提出した質問・要望(認定歯科衛生士研修の受講者選定基準等)に対する回答を得た。渡邊東海北陸ブロック理事からは、入会促進などの情報提供があった。

研修会は集合型とWeb受講のハイブリッドで実施し23名が受講した。はじめに小田部 英勝 氏(一般社団法人 日本イベント産業振興協会 認定研究員)の講演「入会促進のために」を聴講し、その後グループワークを行った。グループワークは、入会促進の対象を、新卒者または診療所等で働く未入会歯科衛生士に分け、それぞれに合った対応を検討した。さらにそれを実現するために何をすべきかをディスカッションし、その内容を発表し会場内で共有した。

筆者は理事として初めて協議会・研修会に参加したが、日衛や他県の歯科衛生士会の動向や方針、問題点などを共有し実感する貴重な機会となった。また、各県と顔のみえる関係性を強化することの大切さを感じるとともに、改めて日頃の臨床や会務に取り組む力を得られたと感じた。次年度は石川県で開催予定である。



参加者集合写真



当会の経験を活かしWebでの参加を受け入れた



現地でのグループワークの様子

～ 小児・高齢者・障がい者の口腔衛生に携わって想うこと ～

中村 朱見

昭和51年歯科衛生士となり、小児歯科の「ライオンファミリー歯科診療所」に就職、14年ほど従事した。

当時は小児のう蝕は多く、小児歯科医院も少なく1年近くも治療を待つ状況だったので、待機している小児を1歳・2歳・3歳と集団で分け、口腔衛生指導とフッ化物塗布を始めた。私もその一員として携わった。

3ヶ月ごとに歯磨き・食生活指導とフッ化物塗布を行い、1歳2歳の保護者は泣き叫ぶ我が子を「いい子だ頑張れ」と言いながら手を握ってくれ、3歳では、ひとりでフッ化物塗布を受ける我が子を保護者はとてもうれしそうに眺めていた。そんな場面に私も幸せを感じた。

また治療終了した小児は、定期検診へと移行していくのだが、障がい児は治療するたびに大暴れ、定期検診時ミラーを口の中に入れようとして大暴れ、どのように対処してよいのかわからない状況だった。ある研修会がきっかけで、愛知県歯科医師会館内にある障がい者歯科診療に携わることとなった。週1回の診療であったが、声のかけ方、繰り返し大切さ、こだわりへの対処の仕方、保護者への言葉かけなどを実践で学んだことは口腔衛生指導に大いに役に立つこととなった。10年経つ頃、保護者の仕上げ歯磨きや飲食の与え方に関心が高まり、小児のう蝕も徐々に少なくなってきた。そんな時、寝たきり老人のことが連日ニュースとなっており、骨が見えるほどのひどい褥瘡など映像で見て、在宅福祉・医療に興味を持ち、福祉科がある大学に行き、社会福祉士という資格を取得した。歯科衛生士と社会福祉士の資格で在宅福祉・医療と携わっていくこととなった。

平成8年、高齢者や障がい者の在宅訪問歯科診療を行っている「あべクリニック」に入職した。そして摂食嚥下機能訓練を行っている歯科医師と同行、その後歯科衛生士として在宅訪問による口腔ケア及び摂食嚥下機能訓練を行った。在宅では、介護の仕方がわからない家族と介護される患者との葛藤や老老介護の現実を見て、介護サービスと口腔ケア支援の普遍化が必要と実感した。

その後介護保険制度が平成12年4月からスタートし介護支援専門員を取得した。ホームヘルパー2級・介護保険制度等の講習会の講師もあべクリニックの仕事と平行して携わっている。

平成17年から知的障がい者入所施設の支援員に口腔ケアの指導をすることになった。当初、歯ブラシを少し当てただけで出血するなど、口腔ケアが行き届いていない様子だったので、入所者のカルテにアドバイスを書いて担当支援員に渡した。その後看護師より「今年はインフルエンザに罹った人がいなかった」と言われた年もあり効果を実感した。今は看護師・支援員と共に、入所者により適切な口腔ケアを提供できるよう心掛けている。現在は、高齢化で座位の姿勢維持が困難な入所者が多くなり、口腔ケア時にベッド等臥位とし、口角鉤にて頬を排除して支援磨きをしている。また支援員もデンタルフロスや歯間ブラシの必要性を理解し使用している。

私ができることは本当に少ないと反省するばかりであるが、長く仕事を続けることができた。それは一緒に働いてくれる歯科医師・歯科衛生士・職員、さらに患者やその家族・関係者の協力があってこそと感謝している。



令和6年能登半島地震における JDAT愛知(日本災害歯科支援チーム)への派遣協力について

災害対策委員会 中村 恵奈

当会では、災害時における歯科保健医療活動等について協定を結んでいる愛知県歯科医師会（以下県歯）から要請が入った際に円滑に協力できるよう、下記の平時の準備を行ってきた。

このたび、令和6年能登半島地震の発災に伴い、1月19日に県歯からJDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）の派遣協力要請が入り、1月26日からJDAT愛知として歯科衛生士支援活動を行なっている。今回は、当会による「①歯科衛生士を派遣するまでの動き」「②派遣歯科衛生士のサポート」についてを報告する。



写真：JDAT愛知第2班
（左：中村恵奈、右から2番目深見亜津子）
※写真はJDAT愛知の許可を得て掲載している

●当会の動き

時期	内 容（★が、会員へ直接行なってきた準備とサポート）
平時の準備	<ul style="list-style-type: none"> ★人材育成研修「災害時における歯科衛生士の心構えと活動のシミュレーション」 ★災害支援歯科衛生士の登録 ★派遣調整の連絡訓練 ★県民への啓発として災害時の口腔ケアリーフレット作成 等
1/1～発災	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部理事内で連絡共有 ・日本歯科衛生士会「東海北陸ブロック（石川県・富山県・福井県・岐阜県・静岡県・三重県・愛知県）」での情報連携 ・県歯との情報連携
1/15	・当会の災害対策本部を設置
1/18	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣調整準備のアンケートを実施 愛知県歯科医師会から支援要請が入った際、直ちに派遣歯科衛生士リストを回答できるように、当会の理事・災害支援歯科衛生士登録者、支部長・支部災害担当者を中心に人員の派遣調整を行った。
1/19	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県歯科医師会から要請依頼が入る（3泊4日で12チーム要請あり） （メンバー構成：歯科医師 1名、ロジ担当（愛知県歯科医師会事務）1名、歯科衛生士 2名）
1/21	・当会の指示系統と役割を決め、派遣調整歯科衛生士を決定、物品等準備
1/23～	<ul style="list-style-type: none"> ★派遣する支援歯科衛生士に向けた説明会を zoom で実施 ★支援に入るまでの質問対応、出発前日から帰宅日まで「現地連絡対応 LINE グループ」を作成し、些細な質問対応や心のケアなどのサポートを実施
1/26～	石川県 志賀町・輪島市へ支援開始

支援に入る前に
歯科衛生士会の支援歯科衛生士用連絡 LINE で、共有される情報が、DH 目線で細かく記載されていてより具体的に想定ができて助かりました。

支援に入った
歯科衛生士からの
メッセージ

いつも遅い時間までサポートくださりありがとうございました。お陰様で無事活動を終えることができました。あらためて、ご支援ありがとうございました。

歯科衛生士離職防止事業 診療所歯科衛生士指導者研修会報告(愛知県委託)

宮下 静香

1月28日(日)愛知県歯科医師会館において、表題の研修会3日目が28名の参加者で開催された。

今回は午前「継続就労に必要な取り組み」と午後「取り組みの報告会」の2部で構成した。午前は、岡崎歯科院長・岡崎伸一先生、やまむら総合歯科矯正歯科院長・山村昌弘先生を招き、歯科衛生士が継続勤務できる取り組み、具体的な環境整備、そこに至るまでの経緯や院長の想いを拝聴した。両者に共通するのは「スタッフとのコミュニケーション」である。岡崎先生はスタッフ離職の経験から、対話や工夫を重ね働きやすい環境を整えたことで今の24年間があるという。山村先生は「共に長く働くには価値観共有が必須」と強調。それには「医院ビジョン・本人の願望と強み・成長を見守る環境」3つの視点が重要と語り具体的な取り組みも共有した。

午後は、これまでの研修を受けて職場内で取り組んだ事例を2診療所が発表した。続いて、グループワークでそれぞれの職場の現状課題と解決策について話し合い、全員でそれらを共有した。「他院の取り組みを参考にする」「自分がいる環境を客観的に見ることができ気があった」等、前向きな声が多かった。

仕事は人生の中で多くの時間を費やすゆえ、「歯科衛生士が歯科衛生士を育てる意識」、「多様な働き方への理解と柔軟性」を自分自身が培う必要がある。新人も指導者も皆がやりがいを持ち続けられるよう、次年度の研修も企画していきたい。



参加者による報告会の様子



OSADA
思いでいこう、この笑も。

OSAPO

オサダのポータルアプリ「オサポ」は
頑張る歯科衛生士の皆さまを応援します！





新人歯科衛生士さん
にもびったりな情報を
毎週お届け!!

OSADA
—アプリのダウンロードはこちら—

Download on the
App Store

GET IT ON
Google Play

例えば、こんなお役立ちトピックをお届けしています。

小児の歯の形成不全
MIHとは?

トピック 1

“MI”ってなんのこと?
徹底解剖!

トピック 2

手技の最新を
おさらいしよう!

トピック 3

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田 5-17-5
<https://osada-electric.co.jp/dental/>

オサダ web サイトはこちら

お問い合わせはこちら

お口の恋人
LOTTE

止

噛むチカラを、
みんなのチカラに。



脳とこころ



からだの
健康



お口の健康



子どもの
発育



美容

<噛むこと情報サイト> **止**噛むこと研究室

<https://www.lotte.co.jp/kamukoto/>



ガムをかんだ後は包んでくずごへ。



令和5年度愛知県歯科医学大会報告

近藤 三千代

2月17日（土）、18日（日）愛知県歯科医学大会・中部デンタルショーが開催された。昨年度と同様、講演会はハイブリッドで行われたが会場には多くの来場者で賑わい、2日間で歯科衛生士は1,620名の来場者があった。

●（公社）愛知県歯科衛生士会講演 「歯周基本治療の効果を最大限に発揮するためには」

日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座

日本歯科大学附属病院総合診療科 准教授 関野 愉先生

関野先生はエビデンスをベースとした多くの書籍を出されており、雑誌「デンタルハイジーン®」や、「歯科衛生士®」にも多く連載をされているので、多くの歯科衛生士は先生の書かれたものを一度は目にされているのではないかと思う。



講演中の関野先生

今回の講演でも「当たり前なことを再確認していくことが大切である」ということから健康な歯周組織、歯肉炎、歯周炎の言葉の定義、歯周病の診断基準や治療の目的はどこにあるのかを確認した。日々の診療で行っていることが正しいということを確認できたことで自身の臨床に対する自信となった。歯周基本治療の中で一番重要なことはプラークコントロールであり、「水準の高い口腔衛生を維持し続けること」と最後に先生が言われたことを意識して臨床に励んでいこうと思う。今回の講演内容をもっと深めたい方には先生の著書を勧める。

- ・みるみる身につくペリオの教養（医歯薬出版株式会社）
- ・ドクター関野のエビデンス・アカデミア（クインテッセンス出版株式会社）
- ・ペリオの世界～検査・歯周基本治療・メンテナンス篇～（デンタルダイヤモンド社）

●（公社）愛知県歯科衛生士会 18回学術大会 ポスター発表

「患者さんの全身から眺めるメンテナンス」 伊東祐依
「神経性食思不振症患者の摂食嚥下障害に対し機能訓練を行うことにより経口からの栄養摂取が可能となった一例」 岩瀬賀恵
「地域高齢者における嚥下機能低下と口腔関連QOLに関する研究」 石上真麗



盛況の会員のポスター発表

2月18日（日）14:30よりポスター発表が行われ、伊東祐依さんは歯科診療所からの症例発表を、岩瀬賀恵さんは日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会、石上真麗さんは日本公衆衛生学会総会での発表を報告をした。参加者からは医科歯科連携や多職種連携の重要性、高齢化社会での口腔機能の問題に多くの質問が投げかけられ盛況であった。歯科衛生士として様々な視点を持ち、現代社会のニーズに対応できる能力を身につけるための研鑽が必要であると改めて感じた。



出張なんでも相談コーナーとリーフレット展示

●出張なんでも相談

昨年に引き続き今年も愛知県内の歯科衛生士養成校協力のもとワークショップ会場の一角に相談場所を設け希望者の悩みや相談に応じた。

ワークショップ内では多くのリーフレットや研修会案内などを設置した。当会Webサイトでダウンロードできるリーフレットは多職種の方にも好評であった。

第1回 気軽な勉強会報告

山村 加奈

令和5年12月13日（水）に頑張る歯科衛生士の交流の場として、「気軽な勉強会」が開催された。この会は、働き続ける歯科衛生士を応援する有志の歯科医師、歯科衛生士による「愛知県の歯科衛生を応援する会」が主催し、愛知県歯科衛生士会が後援している。

その記念すべき第1回はミニセミナーとして「人生100年時代の歯科衛生士が行う患者さんへの声かけ～全身疾患に強くなる」と題し、山村加奈が講話を担当した。

かすみり・おしむら歯科では、「食べるを支える歯科医療」という点に重きを置いて、歯科医師・歯科衛生士・管理栄養士・言語聴覚士が連携を取りながら診療を行っている。また、医科への対診や地域活動なども積極的に実施している。

今回はその中から、日々行なっている患者と歯科衛生士・管理栄養士との繋がりなどを説明した。その後、他院の歯科衛生士とお互いの医院のアプローチ方法や改善策などをディスカッションした。院内だけでなく外に出て意見を交換する事で、凝り固まっている部分がほぐれ、新しい方法が見つかるなど、良いヒントが得られると改めて気付くことができた。

また、この会では常に歯科衛生士が「勉強したい!」「知りたい!」ということをテーマにしているので、回数を重ねて参加することで、興味のある内容を気軽に深くかつ主体的に知ることができる場になっていくと感じた。

参加する歯科衛生士の年齢層も幅広いため、同じ年代の仲間づくりの場として、また相談できる頼もしい先輩と知り合う場としても魅力的な会となっている。

この勉強会の参加者が増え頑張る歯科衛生士の輪が広がることを期待している。



気軽な勉強会の様子



 weltec

愛知県歯科衛生士会 会員の皆様

死亡保障と将来の貯蓄機能を備えた一生涯保障の死亡保険のご案内

- ①子どものために万が一のときの保障
- ②人生100年時代とも言われる時代の為に資産形成
- ③長期・積立・分散による資産形成

この機会にご自身の資産形成を考えてみませんか？

お気軽にご相談ください！

愛知県歯科衛生士会 賛助会員



OLINAS 株式会社
イイダオフィス

名古屋市中川区露橋2-26-7

☎052-363-2156





支部コーナー

★ 尾張北部支部 「秋の歯と口の健康週間事業への協力」

竹内 陽子

地域歯科医師会が主催した、「キッズ歯っぴースマイルプロジェクト」が11月5日（日）大口町健康文化センター、11月12日（日）江南市保健センターと岩倉市総合体育文化センターで開催された。また、「令和5年度秋の歯と口の健康センター」が11月12日犬山市民健康館（さら・さくら）と扶桑町保健センターで開催された。これらのイベントに支部会員のべ18名が参加した。コロナ禍は予約管理されていた来場日時が今回からは廃止となったが、主催者の的確な誘導や会員同士の連携によりスムーズに行うことができた。はじめて参加の支部会員も「次回も是非参加したい」と会員同士の繋がりを楽しんでいた。



なごや8020フェスティバルでのスタッフ集合写真

★ 名古屋支部 「なごや8020フェスティバル開催」 小出 夕理

名古屋市・名古屋市歯科医師会・名古屋市学校歯科医会・愛知県歯科衛生士会名古屋支部4団体主催で、12月3日オアシス21で啓発イベントが開催された。当支部はブラッシング圧体験を行い、813名の来場者があった。来場者からは「力をいれすぎていた」、「正しい力加減を知って良かった」等、好評であり、多くの方に正しく歯をみがくことの大切さを伝える良い機会となった。

★ 豊田みよし支部 「三河歯科衛生専門学校 媒体指導」

加藤 真紀



媒体指導の様子

12月8日（金）三河歯科衛生専門学校の2年生38名を対象とした媒体指導を行った。この指導は、幼稚園、小学校での指導で使用する媒体を実演して指導方法を学んでもらう。園児や児童になりきった学生に対して、我々が導入の仕方や話し方、媒体の示し方などを実演した。学生は手作りの媒体に触れたり、動かすなどして興味を示していた。今後も協力していきたい。

★ 尾張東部支部 「支部研修をおえて」

神村 希久

尾張東部支部では、11月5日に当支部の会員でもある佐藤厚子歯科衛生士（愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科・リカレント研修センター非常勤講師）を講師に招き、約4年ぶりの支部研修会を開催した。長久手福祉の家を会場に、「患者さんを診る目—あなたの強みを応援します」というテーマで講義とグループでの意見交換を行った。非会員の参加もあり、研修会開催後は交流会を行った。終了後のアンケートでは受講者の満足度が高かった。さらに非会員の方からは、入会希望の声を聞くことができ大変うれしかった。

★ 知多支部 「支部研修会と懇親会」

河村 康子



中村朱見歯科衛生士による講義

令和6年1月21日（日）半田歯科医療センターを会場に、支部研修会と懇親会を開催した。

「含嗽困難な知的障がい者の症例から口腔機能を考える」をテーマに17名が参加し、講義とグループワークを行った。懇親会では会員同士の親睦を深める時間を共有し、有意義な一日となった。



懇親会での集合写真

★ 三河東部支部「R5年度 支部研修会開催」 清水 里子

1月28日（日）田中恵歯科衛生士（愛知県医療療育総合センター中央病院）を講師に迎え、支部研修会を開催した。「地域における障害児の口腔ケア支援に向けて」をテーマに、患者さんの観察方法、声をかける際の注意点、動画による実際の口腔ケアの方法等の講義と、ダウン症等の症例検討を行った。日常臨床に即した内容で、受講者からは「大変わかりやすく勉強になった」等と好評な声が多く聞かれた。久しぶりに集合型で開催できたことも嬉しかった。



田中恵歯科衛生士と支部役員の集合写真

★ 三河南部支部 「1年間の活動を振り返って」 太田 由紀子

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となり、以前に行っていた事業や活動を再開した。9月には愛知県と安城市が主催した総合防災訓練が開催され、当支部は防災啓発活動を行った。この訓練中には、まさか能登半島地震が起こるとは想像もしていなかった。しかし、災害の現実をメディア等で突き付けられ、当支部からも数名の会員が被災地支援に協力している。改めて、日常からの防災訓練や安否訓練の必要性を感じた。

★ 尾張西部支部 「支部研修会」 富田 まさみ

1月21日（日）一宮中保健センターを会場に、畑佐学歯科医師を講師に招き、「知的能力障害・自閉症スペクトラム症・認知症への対応を中心に」というテーマで集合型研修会を開催した。23名の会員と12名の非会員が参加し、「障害について幅広く教えていただき勉強になった」等、好評な感想が多く聞かれた。



研修会会場の様子

★ 愛知西支部 「支部合同(ハイブリッド)研修会報告」 長谷川 純代

名古屋支部との合同研修会も3年目となった。昨年度研修会の受講者アンケートの結果から、新たな取り組みとしてハイブリッドで研修会を開催した。現地参加21名とオンライン参加10名の合計31名の受講があった。研修会は「作ること 楽しむこと 食べること」というテーマで、金子貴志管理栄養士を講師に招いた。講師は病院でのチーム医療を経験後12年前より在宅管理栄養士として活動している。多彩な活動内容から「食べること」はもちろん、「作ること」「楽しむこと」も同時に重要であることを学んだ。オンライン参加者にはZoom上で動画が動かないトラブルがあり迷惑をかけたが、この経験は次年度に活かしたい。

★ 岡崎支部「支部研修会報告」 畔柳 恵子



口腔体操指導の様子

令和6年2月8日（木）に岡崎歯科総合センターにて岡崎歯科医師会・愛知県歯科衛生士会岡崎支部共催で研修会を開催した。「令和6年度からはじまる岡崎市後期高齢者口腔機能健診について」というテーマで、歯科医師を講師に健診マニュアルの説明と岡崎支部会員による口腔体操のレクチャーを行った。研修会の内容は、健診を受けるすべての受診者にオーラルフレイルと健診の意義を説明し、健診結果に応じた保健指導や助言を行うことを目的としたものであった。

令和5年度地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業全体会報告

【県委託事業】

細久保 真理子



ハイブリッド研修で報告をする筆者

12月10日（日）地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業全体会が開催された。この研修会の目的は、市町村における「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施にあたり、各地域の特性を踏まえた介護予防の取り組みを強化するために、介護予防事業に対応できる人材を育成することである。

愛知県庁からは「愛知県の保健事業と介護予防の一体的実施に対する取り組み」の報告があった。専門職が介護予防の取り組みを市町村、地域包括支援センターと連携しながら総合的に支援し、今後も一体的実施の立ち上げと継続支援を期待すると話された。

続いて5団体の地域包括ケアの取り組み報告を行い、当会からは地域包括ケア対応人材育成研修会の実施や歯科衛生士の地域ケア会議への派遣状況を紹介した。

招待講演では、「埼玉県の介護予防事業や一体的実施事業の紹介～栄養・口腔・リハビリテーションを活かした次の一歩～」というテーマで、岡持利巨先生（埼玉県理学療法士会副会長、埼玉県霞が関南病院）を講師に迎えた。高齢者が住み慣れた地域で望む生活を続けられるようにするためには、専門職としてどの様に関わると良いか埼玉県の事例を紹介された。高齢者が元気なうちから気軽に相談できる関係性を築くことや、地域の資源を活用することは重要である。また、質が高く均質なサービスをどこでも提供できるよう医療や介護などの従事者が日頃から連携して、顔の見える関係性を築いていくことが大切だと話された。地域に出て多職種の専門性を相互に理解し連携することは、高齢者の望む暮らしの実現に、歯科衛生士も寄与できると感じた。

フッ化物配合歯磨

ミラージェル[®]

MIRANOSEL



- 1 フッ素として1,450ppm配合
- 2 研磨剤・着色料・発泡剤不使用
- 3 ミックスベリーミント風味

医薬部外品
薬用歯磨剤

販売名：ミラージェル(45g)

製造販売元
(株)ビーブランド・メディコーデンタル
大阪市東淀川区西淡路 5-20-19 TEL:(06)6370-4182

製品情報
弊社ホームページ
<https://bee.co.jp/>
作成年月：2024.2

厚生労働大臣許可番号 13-コ-302400

歯科衛生士の 就職・転職は クオキャリア Quacareer



WEB
求人サイト

就職
情報誌

DH
就活フェス

— 歯科衛生士の「働く」のそばに —

経験者向け求人はこちらをチェック!

最新情報は
WEBをチェック!

株式会社クオキャリア 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-46-3 いちご大塚ビル 6F

名古屋市長との懇談会

金森 いづみ



懇談後記念撮影

12月22日（金）愛知県歯科衛生士会として初めて河村名古屋市長と直接懇談する機会に恵まれた。

公益社団法人愛知県歯科衛生士会の現状、活動内容について説明し、歯科診療所における歯科衛生士不足、歯科衛生士養成4年制大学の開設、名古屋市の歯科保健体制の充実（行政歯科衛生士の増員、育休代替職員の常勤化、小学校でのフッ化物洗口の実施）などを要望した。会場には岡本前市議会議員、健康福祉局及び教育委員会の幹部職員が同席し、本会の要望に耳を傾け、その必要性に理解を示してくれた。すぐに要望がかなうことは難しいが、今後も要望し続けることで、愛知県歯科衛生士会が名古屋市民の歯科保健の向上に貢献できることを示していきたい。

の必要性に理解を示してくれた。すぐに要望がかなうことは難しいが、今後も要望し続けることで、愛知県歯科衛生士会が名古屋市民の歯科保健の向上に貢献できることを示していきたい。

受賞おめでとうございます

令和5年11月16日 愛知県知事感謝状・愛知県歯科医師会会長表彰式において、歯科衛生士として下記会員が表彰を受けた。

【愛知県知事感謝状】 神原裕子（三河東部支部）

【愛知県歯科医師会会長表彰】

長縄 弥生（名古屋支部） 鈴木 浩子（名古屋支部）
堀場 直美（尾張西部支部） 島 久恵（三河東部支部）



神原さん 長縄さん 鈴木さん 堀場さん 島さん

SUNSTAR

BUTLER

口腔粘膜、気になる傷口のケアに

傷口をカバーして保護する
お口の液体絆創膏



バトラー
マウスベール
お口の液体絆創膏

Mouth Veil Oral Liquid Bandage 液体包帯 一般医療機器

【外箱】一般医療機器 【一般の名称】液体包帯 【販売名】バトラー マウスベール お口の液体絆創膏
【品名】2781X00134000003 【内容量】90mL
※本品は一般医療機器「液体包帯」であり、保険請求はできません。
使用方法、使用上の注意などについては添付文書をご参照ください。

商品についてのご質問・ご不明な点は下記へお問い合わせください。

サンスター株式会社

〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号
TEL:072-682-4733
FAX:072-684-5669

※登録商標、改良品は登録商標です。2024年11月現在

はじめて学ぶ 歯科衛生士のための
咽喉喀痰吸引マニュアル
呼吸器のリスク管理と実践

谷口裕重・渡邊理沙 編著



咽喉喀痰吸引の基本的な手技のほか、呼吸器にかんするリスク管理の方法についても解説。歯科のために書かれた、はじめてのマニュアルです。本書で適切なリスク管理と実施のための法的解釈を理解し、訪問診療の場で歯科としての専門性を発揮していきましょう！

■B5判/128頁/カラー ■定価 5,500円(本体 5,000円+税10%)
■ISBN978-4-263-42309-7

歯科医院での
実用英会話

第3版
音声DL付



土田和範・廣富英雄・上沖彰宏
Steven M. Wolfe・笛吹理絵 著

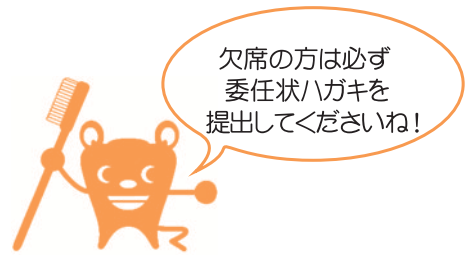
ベストセラーの歯科英会話本が6年振りのリニューアル！どんな診療の場面でも、この1冊があれば大丈夫。時代にに合わせてメンテナンスやホワイトニングなどほか、新型コロナウイルス感染症を踏まえた内容も追加され、ますます役立つ内容に！

■B5判/96頁 ■定価 4,180円(本体 3,800円+税10%)
■ISBN978-4-263-44686-7

医歯薬出版株式会社 <https://www.ishiyaku.co.jp/>

★★★ 第13回通常総会 ★★★

日時：令和6年5月19日(日) 10:00～
 場所：愛知県歯科医師会館
 議題：令和5年度決算報告(案)について
 令和5年度事業報告(案)について
 任期満了に伴う役員改選について



● 会 動 向 ● 2023.11/16～2024.3/10

- | | | | |
|------------|---|-----------|--|
| 11月16日 | 愛知県知事感謝状及び愛知県歯科医師会
会長表彰並びにウエルネス8020特別表彰式 | 1月11日 | 愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 |
| 11月17日 | 病院歯科保健委員会
オーラルフレイル対策地域推進委員会
歯科衛生士会入会説明会(三河歯科衛生専門学校) | 1月14日 | 愛知県歯科衛生士会研修会
あいち小児保健協議会理事会及び学術研修会
令和6年第1回選挙管理委員会
愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義
総務会 |
| 11月18日・19日 | 東海北陸ブロック連絡協議会 | 1月18日 | 愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 |
| 11月20日 | 在宅歯科医療提供体制検討会 | 1月19日 | 病院歯科保健委員会
歯科衛生士会入会説明会(名古屋ユマニテック歯科衛生専門学校) |
| 11月21日 | 令和5年度第2回養成校との連絡会議 | 1月21日 | 知多支部研修会
尾張西部支部研修会
愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 |
| 11月23日 | 地域包括ケア対応歯科衛生士養成事業研修会(名古屋地区)
愛知県歯科衛生士会研修会
介護予防に関する市町村支援事業アドバイザーフォローアップ研修
歯科衛生士定着委員会 | 1月22日 | 介護予防に関する市町村支援事業アドバイザーフォローアップ研修 |
| 11月28日 | 愛知県弁護士会若手活動部との会議 | 1月23日 | 第2回愛知県在宅医療推進協議会 |
| 11月29日 | 愛知県立ち入り調査(監査) | 1月25日 | 愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 |
| 11月30日 | 総務会
愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 | 1月28日 | 歯科衛生士離職防止研修会
愛知西・名古屋支部合同研修会(ハイブリッド)
三河東部支部研修会
愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 |
| 12月3日 | 愛知県歯科衛生士会研修会
災害歯科保健歯科衛生士フォーラム(東海北陸ブロック)
愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 | 2月1日 | 愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 |
| 12月6日 | 歯科衛生士会入会説明会
(ナゴノ福祉歯科医療専門学校・名古屋医健スポーツ専門学校) | 2月4日 | 理事会・支部長会
愛知学院短期大学部歯科衛生士リカレント研修講義 |
| 12月10日 | 理事会・支部長会
地域ハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業全体会
愛知県歯科衛生士会研修会 | 2月6日 | 愛知県健康づくり推進協議会歯科口腔保健対策部会 |
| 12月14日 | 海部歯科医師会歯科保健大会 | 2月11日 | 日衛会長会
愛知県歯科衛生士会研修会 |
| 12月17日 | 愛知県歯科衛生士会研修会 | 2月8日 | 岡崎支部研修会(ハイブリッド) |
| 12月21日 | 愛知県口腔機能育成地域支援検討会議
令和5年第1回教育課程編成委員会 | 2月12日 | 日衛歯科衛生推進フォーラム |
| 12月22日 | 河村名古屋市長との懇談会
地域保健委員会 | 2月17日・18日 | 愛知県歯科医学大会 |
| 12月25日 | 介護予防に関する市町村支援事業アドバイザーフォローアップ研修 | 2月22日 | 愛衛だより編集会議 |
| 1月10日 | 歯科衛生士会入会説明会
(専門学校中部ビューティー・デザイン・デンタルカレッジ) | 2月25日 | 三河南部支部研修会 |
| | | 2月26日 | 介護予防に関する市町村支援事業アドバイザーフォローアップ研修 |
| | | 3月3日 | R6災害対策研修会 |

■ 今後の予定 ■ 2024.3/10～7/15

- | | | | |
|-------|----------------------------|-------|-------------|
| 3月14日 | 健康危機管理歯科保健医療人材育成研修「防災対策」研修 | 5月21日 | 第13回通常総会 |
| 4月11日 | 総務会 | | 第2回理事会・支部長会 |
| 4月18日 | 会計監査 | 6月9日 | 日衛代議員会 |
| 4月21日 | 第1回理事会・支部長会 | 6月27日 | 総務会 |
| | | 7月7日 | 第3回理事会・支部長会 |